

第2次町田市 一般廃棄物資源化基本計画

【一部改定】
後期アクションプラン

2026年3月
町田市



はじめに

2015年9月に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」では、環境問題、経済成長、貧困などの国際目標が掲げられており、その目標年である2030年が、いよいよ目前に迫っています。現在、国を挙げて「循環経済（サーキュラーエコノミー）」への転換等が進められており、私たちの暮らしとごみを取り巻く環境は、単なるごみの減量から、地域での資源循環が求められてきています。

また、気候変動が深刻化し、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにするカーボンニュートラルの実現が喫緊の課題となる中、町田市においても、2022年1月に「ゼロカーボンシティまちだ」を宣言いたしました。

こうした状況下で、食品ロスの削減やプラスチックの資源循環など、ごみの減量・資源化を推進することは、温室効果ガスの抑制を通じた地球温暖化対策としても、極めて重要な意味を持っています。

町田市では、2005年10月のごみの有料化以降、市民・事業者・行政の協働のもと、ごみの減量や資源化に取り組んでまいりました。

2022年には、「生ごみを資源化する」という市民の提言から、東日本初のバイオガス化施設を併設した「町田市バイオエネルギーセンター」の稼働に至りました。燃やせるごみの中から生ごみ等を選別、発酵処理を行い、バイオガスとして資源化し、発電に利用しています。

さらに、長らく課題となっていた容器包装プラスチックの資源化につきましても、2026年4月から、資源ごみ処理施設の整備に先行するかたちで、市内全域での分別収集を開始いたします。これにより、市民の皆様の分別へのご協力がより直接的に資源循環へと結びつく体制が整います。

2021年3月に策定した「第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画」（以下、「本計画」という。）における「一人一日あたりのごみ排出量」の目標については、当初の目標年度より6年前倒しして2024年度に達成することができました。そのため、更なるごみの減量に向けて、目標を上方修正し、本計画を改定しました。

あわせて、本計画の後半5年間の実行計画である「後期アクションプラン」に、近年の社会環境の変化を踏まえた方針を定め、AIなどのデジタル技術を活用しながら、ごみの減量・資源化に取り組んでまいります。

本計画の実現に向けては、町田市と市民・事業者の皆様との、これまで以上のコラボレーションが鍵となります。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本計画の改定および後期アクションプランの策定にあたり、ご尽力いただきました廃棄物減量等推進審議会の委員の皆様を始め、ご協力いただきました市民の皆様にご心からお礼申し上げます。

2026年（令和8年）3月
町田市長 石阪 丈一

<目 次>

第1部 第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画

第1章 基本的事項	8
1 計画策定の目的.....	8
(1) 計画の背景.....	8
2 計画策定の基本事項.....	9
(1) 計画の位置づけ.....	9
(2) 計画期間.....	10
(3) 計画対象.....	10
第2章 ごみ処理基本計画	11
1 ごみの排出及び資源化に関する現状と課題.....	11
(1) 当市を取り巻く社会情勢.....	11
(2) ごみ収集・処理体制.....	14
(3) 総ごみ量及び資源化量の推移（2024年度までの推移）	18
(4) 他市との比較（2024年度比較）	20
(5) ごみ処理経費（2024年度までの推移）	26
(6) 一般廃棄物資源化基本計画（2011年4月策定）の評価	28
(7) 課題の整理（一般廃棄物資源化基本計画（2011年4月策定）終了時点） ..	32
2 計画の基本的な考え方.....	36
(1) 基本理念・基本方針.....	36
(2) 目標値の設定.....	38
(3) 施策体系.....	44
(4) 基本方針1の取り組み.....	45
(5) 基本方針2の取り組み.....	47
(6) 基本方針3の取り組み.....	52
(7) 基本方針4の取り組み.....	54
(8) 基本方針5の取り組み.....	57
第3章 生活排水処理基本計画	61
1 生活排水に関する現状.....	61
(1) 生活排水処理の現状.....	61

(2) し尿の処理方法.....	62
(3) 収集・運搬方法.....	62
(4) 合併処理浄化槽の普及促進.....	62
(5) 浄化槽の適正な維持管理の推進.....	62
(6) 施設.....	63
2 計画の基本的な考え方.....	63
(1) 計画目標.....	63
(2) 今後の発生量予測.....	63
(3) 今後の取組.....	63
第4章 一般廃棄物資源化基本計画の進行管理.....	64
1 計画の進行管理.....	64
(1) 計画目標.....	64
(2) 進捗状況の点検、評価、見直し.....	64
(3) 国や都・周辺自治体との連携.....	64

第2部 後期アクションプラン

第1章 基本的事項.....	66
1 後期アクションプランとは.....	66
2 アクションプランの計画期間.....	67
3 前期アクションプラン（2021年度～2025年度）の課題整理.....	67
4 基本計画の目標と目標達成時のごみ・資源量等の想定.....	69
第2章 アクションプランの取組.....	72
1 5つの基本方針.....	72
2 2030年度までの廃棄物施策の方針.....	73
3 施策体系【再掲】.....	75
4 基本方針1の取組.....	76
5 基本方針2の取組.....	79
6 基本方針3の取組.....	90
7 基本方針4の取組.....	97
8 基本方針5の取組.....	101
第3章 アクションプランの進行管理.....	108

資料編

1 町田市の概況.....	110
2 用語解説.....	112
3 ごみ組成調査の概要.....	116
4 ごみ量の予測方法について.....	122
5 町田市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例及び施行規則.....	125
6 廃棄物減量等推進審議会（計画策定時）について.....	128
7 廃棄物減量等推進審議会（一部改定時）について.....	132
8 パブリックコメントの実施結果.....	136

コラム

2050年には海洋中のプラスチックごみの量が魚の量を超える！？.....	12
バイオガス化施設とは？.....	30
広がるプラスチックの店頭回収.....	49
リチウムイオン電池による火災.....	50
電力の地産地消.....	54
ご存じですか？ごみのゆくえ.....	56
災害時のごみの出し方は？.....	58
紙おむつのリサイクル.....	59
AI技術の活用.....	74
多言語対応で誰にとっても分かりやすい分別へ.....	88